

ろうさい ニュース

令和5年

12月号

第469号

当院に患者さんをご紹介くださっている先生方には、感謝申し上げます。

地域の皆様からの信頼に応え続けるために「**アットホームなハイクラスの病院**」を目指し取り組んでいます。



診療科の紹介 呼吸器外科

呼吸器外科 船井 和仁

今月は、第2・4水曜日午後に当院呼吸器外科外来診療を担当しています浜松医科大学特任教授 船井医師からの肺がんの話になります。

肺がんのお話

浜松労災病院呼吸器外科の船井です。今日は肺癌についての話をしたいと思います。「呼吸器外科の船井と言えば浜松医大にいないんじゃないの?」という方もいらっしゃるかと思いますがその通りで、私は普段は浜松医科大学に勤務しております。10年以上前に浜松労災病院に呼吸器外科医を派遣していた京都大学呼吸器外科が医師不足のため常勤医を派遣できなくなり、代わりに浜松医大から私が隔週で呼吸器外科外来を引き継ぎ今日に至っております。

さて無駄話はこれくらいにして本題に入りますが、皆さんにとって肺癌は身近な病気ですか? 国内では約12万7千人が肺癌と診断されており(2019年)、7万6千人弱が肺癌で死亡しています(2020年)。実に日本人の1000人に1人が肺癌と診断されていることとなります。

がん死亡数では、全てのがんの中で肺癌の死亡数が男性で1位、女性が2位で男女計では最多となっています。したがっていかに早く肺癌を見つけて治療を開始するかが非常に重要になっています。

肺癌の早期発見のためには、検診がとて重要です。浜松市では2003年から医師会が主体となりかかりつけ医と専門医が協力して検診を行う独自のシステムを開発しました。まずかかりつけ医が撮影した胸部X線を読影し（一次読影）、医師会に送ります。次に、我々専門医が浜松市医師会に出向き、二人一組で二次読影を行って、計3名6つの目でX線を診断しています。肺癌検診では肺癌発見率の許容値が0.03%ですから、10万人あたり30人の肺癌を発見するのが標準です。浜松市医師会では独自の検診システムを始めた2003-2004年に10万人あたり98人の肺癌を発見し、以後も高い発見率を維持しています。浜松労災病院からは私の他に呼吸器内科の豊嶋先生、幸田先生が検診二次読影に参加しています。

発見された肺癌に対して治療が始まるわけですが、ここ数年肺がん治療はものすごい勢いで進歩しています。他のどの癌腫にも過去のどの時代にもなかった急激な進歩だと思えます。がん治療は大きく全身治療と局所治療に分けられます。がんが局所にとどまっている状態（主にI期、II期）では局所治療が行われますし、全身に広がっていれば（IV期）全身治療が行われます。局所治療には手術と放射線治療があり、全身治療は薬物療法です。私は外科医なので局所治療である手術が専門です。一方でがん薬物療法専門医として薬物療法も専門ですので、今回は肺がん治療のなかで手術と薬物療法について説明します。

肺がんの手術療法

従来、肺癌に対しては胸を開く開胸手術が行われてきました。30年位前からは胸腔鏡（きょうくうきょう）というカメラを胸の中に入れて、胸壁に数か所の穴をあけて手術を行う胸腔鏡手術が行われるようになりました。5年前からはロボット支援手術が一般的にも行われるようになり、ダヴィンチという手術支援ロボットが使われています。浜松労災病院で肺癌と診断された早期の患者さんは、当院呼吸器外科を通じて浜松医大で手術を行っており、上記の全ての術式に対応しています。

肺がんの薬物療法

現在の肺癌の薬物療法は抗がん剤と分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤の三本柱で成り立っています。肺癌と診断されれば、まずがん化に関係している遺伝子変異とPD-L1という細胞表面のタンパク質を調べます。遺伝子変異があればそれに対応した分子標的薬治療が行われ、遺伝子変異がなくPD-L1が陽性なら免疫チェックポイント阻害剤が用いられます。これらの薬剤によって肺がんの治療成績は10年前とは比較にならないくらい改善しました。

また、手術の前や後に薬物療法を行う周術期療法はここ数年で劇的に変化しました。手術前に抗がん剤＋免疫チェックポイント阻害剤を用いる方法、手術後に抗がん剤＋免疫チェックポイント阻害剤、または抗がん剤の後に分子標的薬を用いる方法が保険診療で行えるようになりました。

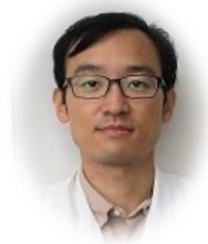
肺がんの薬物療法はここ数年、毎年診療ガイドラインが改定されるほど新しい治療法が登場しています。しかし重要なことは必ずしも新しい治療が良いというわけではなく、遺伝子変異やPD-L1 発現など個人個人にあったテーラーメイド治療がその人にとってベストな治療であるということです。呼吸器内科の主治医とよく相談して、自分にあったベストな治療法を選択することが重要です。

新規採用医師の紹介

脳神経外科医師 熊谷 吉哲

初めまして、10月より脳神経外科に赴任しました熊谷吉哲と申します。出身は岐阜県で、岐阜大学出身です。卒業後は岐阜県内の病院で勤務しており、9月までは高山赤十字病院に勤務しておりました。

脳卒中を中心に外傷や脳腫瘍など様々な面で地域の方々に貢献できるように精進させていただきたいと思います。また、浜松は初めてであり、岐阜に比べて都会であることから生活等では楽しめればと思います。どうぞよろしくお願い致します。



住所変更のお知らせ

浜松市では、2024年1月1日より区割りの再編が行われます。大変お手数をおかけいたしますが、2024年1月1日以降の当院への住所を変更くださいますようお願い申し上げます。

- 変更前： 浜松市東区将監町 2 5
- 変更後： 浜松市 中央区 将監町 2 5
- 問合せ先： 浜松ろうさい病院 総務課
浜松市東区将監町 2 5
TEL：053-462-1211
FAX：053-465-4380

■浜松ろうさい病院 令和5年12月外来担当医表

令和5年12月1日現在

診療科	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)
総合内科	イワモト タツシ 岩本 達治 ヒガシツツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	ヒガシツツ ヒロアキ	—	イワモト タツシ 岩本 達治 ヒガシツツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	イワモト タツシ 岩本 達治 ヒガシツツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	イワモト タツシ 岩本 達治 ヒガシツツ ヒロアキ 東辻 宏明	—
腎臓内科 (外来10:00~)	オオタ タカユキ 太田 孝行(非)	—	—	—	シカヤマ ユキヒロ 中山 幸大(非)	—	—	—	シダ リュウワロウ 志田龍太郎(非)	—
内分泌代謝内科	—	—	ナカムラ トシヒロ 中村 謙宏(非) ※入館のみ	—	—	—	—	—	—	—
リウマチ・膠原病科	—	—	—	—	—	—	—	ゴトウ ヨシノリ 後藤 吉規(非)	—	—
精神神経科	—	—	—	—	—	—	スギモト ヨウコ 杉本 洋子(非) ※予約のみ	—	—	—
呼吸器内科	トヨシマ ミキオ 豊嶋 幹生 ※予約初診・再診 モリツグ ケイスケ 森川 圭亮 ※初診	—	コウダ ケイゴ 幸田 敬悟 ※初診・再診	—	サトウ マサキ 佐藤 雅樹(非)	—	トヨシマ ミキオ 豊嶋 幹生 ※予約初診・再診 コウダ ケイゴ 幸田 敬悟 ※初診	—	カミヤ ヨウスケ 神谷 蘭輔(非) ※初診・再診	—
呼吸器外科	—	—	—	—	フナイ カズヒト 船井 和仁(非) (第2・4週)	—	—	—	—	—
肝臓内科	—	—	—	—	—	—	モリシタ ムネヲ 森下 泉自	—	—	—
血液内科	—	—	タケシタ アキヒロ 竹下 明裕(非)	—	—	—	—	—	—	—
消化器内科	外来	オオタ ユウジ 大田 悠司 マツモト アイ 松浦 愛	—	タニ シンヤ 谷 伸也(非)	—	イシダ ナツキ 石田 夏樹(非)	—	タカノ リョウスケ 高野 亮佑	—	タカノ リョウスケ 高野 亮佑 マツモト シンペイ 松本 慎平
	※カメラは 完全予約制	IBD外来	—	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行	—	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行	—	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行	—	—
	胃カメラ	高野・松本	—	松浦・松本	—	大田・高野	—	昭和大(非)	—	松浦・森下
	大腸カメラ	—	松本・谷(非)	—	高野・松本・小出	—	大田・高野	—	昭和大(非)	—
循環器内科	ハットリ リュウイチ 服部 隆一(非) (交代制) (常勤医)	—	ハットリ リュウイチ 服部 隆一(非) タカハシ マサアキ 高橋 正昭(非)	—	カワモト アキラ 河本 肇 イマナカ ミヤコ 今中 雅子(非)	—	シノダ エイチ 篠田 英二	—	ヤマダ ミホ 山田 美保	—
神経内科	—	—	藤田(非)・幸輔(非) (交代制)	—	—	—	—	—	—	—
小児科	—	—	非常勤医師 (交代制)	—	—	—	—	—	—	—
外科	テラタニ ナオキ 寺谷 直樹	—	—	—	テラタニ ナオキ 寺谷 直樹	テラタニナオキ 寺谷 直樹	—	—	—	—
消化器外科	(交代制)	—	スミダ ヒトシ 隅田 仁 (交代制)	—	ナカムラ シュンスケ 中村 俊介	—	イノウエ ハルタカ 井上 立康 (交代制)	—	イノウエ ケンタ 井ノ口 健太 (交代制)	—
院長外来(消化器外科)	エガラ ヒロト 江川 裕人 ※予約のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乳腺外科	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一	—	—	—	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一	—	—	—	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一
整形外科	初診	ナカヤマ ケン 中山 憲 ※予約のみ タバ ユウジ 田邊 健	—	ハヤシ マコト 林 信実 ナカヤマ ケン 中山 憲 ウメダ アカネ 梅田 朱音	—	イシカワ トモミ 石川 朋美 偶数週 中山 憲	—	タバ ユウジ 田邊 健 ハヤシ マコト 林 信実	—	ウメダ アカネ 梅田 朱音 ハヤシ マコト 林 信実
	再診	—	—	—	—	—	—	—	—	—
形成外科	フクハラ サダコ 福原 定子	—	フクハラ サダコ 福原 定子 カキヌマ ショウタ 柿沼 翔太(非)	—	—	—	フクハラ サダコ 福原 定子 スズキ シゲヒロ 鈴木 茂彦 ※予約のみ	—	フクハラ サダコ 福原 定子 リキマル ツバサ 丸丸 眞(非)	—
脳神経外科	クマガイ ヨシノリ 熊谷 吉哲 モリシマ タカフミ 森脇 孝文	—	クマガイ シュンスケ 竹中 俊介 モリシマ タカフミ 森脇 孝文	—	クマガイ シュンスケ 竹中 俊介 非常勤医師 (第2・4週)	—	クマガイ ヨシノリ 熊谷 吉哲 初診のみ 非常勤医師 (第2・4週)	—	クマガイ ヨシノリ 熊谷 吉哲	—
心臓血管外科	ツマル シンイチ 津丸 真一	—	—	—	—	—	シマモト タケシ 島本 健	—	シマモト タケシ 島本 健	—
皮膚科	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	ホンダ テツヤ 本田 哲也(非) (月1回・予約のみ)	フナイ ナオコ 船井 尚子	—	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	—
泌尿器科	シミズ コウスケ 清水 浩介	—	アラキ ヒロマサ 荒木 博賢 コホリ ゴウ 小堀 豪	—	清水(1・3・5週) 荒木(2・4週) モロイ ケイジ 諸井 誠司	—	シミズ コウスケ 清水 浩介 コホリ ゴウ 小堀 豪	—	アラキ ヒロマサ 荒木 博賢	—
婦人科	オザワ ヒデチカ 小澤 英親	—	オザワ ヒデチカ 小澤 英親	—	オザワ ヒデチカ 小澤 英親	ミヤケ ワカバ 三宅 若葉(非)	オザワ ヒデチカ 小澤 英親	—	イロキ タカユキ 岩城 孝行(非)	—
眼科	アラカワ ナカリ 荒川 あかり(非)	—	—	—	—	—	アサヒナ トシヒコ 朝比奈俊彦(非)	—	イロキ タカユキ 岩城 孝行(非) ヤマザキ トモユキ 山崎 智幸(非)	—
耳鼻咽喉科	—	—	ヨシザワ アキラ 吉澤 亮(非)	—	—	—	キタノ マサユキ 北野 止之 (非)	—	—	—
放射線科 (診断)	—	—	—	—	ヤマシタ シュウヘイ 山下 修平	—	—	—	—	—
放射線科 (治療)	—	—	—	—	—	名市大(非)	—	—	名市大(非)	—
リハビリテーション科	スギヤマ ヒロユキ 杉山 宏行	—	スギヤマ ヒロユキ 杉山 宏行	—	杉山 宏行 ※予約のみ	—	スギヤマ ヒロユキ 杉山 宏行	—	杉山 宏行 (第2週休診)	—

● 青字は医師交替、赤字は診療時間の追加・変更部分になります。● (非)は非常勤医師となります。

■ 専門外来(特殊外来)

診療科	外来名	診療日	診療時間	備考	診療科	外来名	診療日	診療時間	備考
呼吸器内科	リウマチ外来	月・木曜日	15:30~17:00	予約制	整形外科	手外科専門外来	不定期水曜日	14:00~16:00	予約制
リウマチ・膠原病科	リウマチ・膠原病科	木曜日	13:30~17:00	予約制	心臓血管外科	静脈瘤外来	月曜日	8:30~11:00	—
循環器内科	A・S・M-カ-外来	第1木曜日	9:00~	予約制	泌尿器科	尿路結石外来	月・水曜日	13:30~16:00	予約制
	不整脈外来	第1・2金曜日	13:00~	予約制	泌尿器科	女性泌尿器科外来	火曜日	8:30~11:00	予約制
形成外科	小児形成外来	金曜日	10:00~	予約制	リハビリテーション科	義肢装具外来	火曜日	10:00~	予約制
		火曜日	9:00~11:00	—		健康診断部	月~金曜日	8:30~11:00	予約制

Johas 独立行政法人 労働者健康安全機構 浜松ろうさい病院 地域医療連携室

受付時間 電話 053-411-0366 fax 053-411-0315

紹介患者の予約受付 月~金 8:15~18:00 土 9:00~12:00

